

株主通信

2022年12月期

2022.1.1 ▶ 2022.9.30

GMOフィナンシャルHD

証券コード：7177

市場の変化に
迅速・的確に対応し
着実な成長を実現

代表執行役社長
COO

石村 富隆



当第3四半期連結累計期間(1-9月)においては、営業収益は前年同期をやや上回ったものの、暗号資産事業の低調により利益は減少しました。また、当社が保有するGMOあおぞらネット銀行株式会社の株式について、事業KPIは拡大しているものの成長速度が想定を下回り、同行の事業計画との間に乖離が生じていること等を受けて、減損処理等に伴う約41億円の特別損失を計上しました。これにより、当第3四半期(7-9月)の最終損益が赤字となったことなどを総合的に勘案し、誠に遺憾ではありますが、当第3四半期末配当は無配とさせていただきます。期末配当も無配とさせていただきます予定です。

証券・FX事業は、主力商品の店頭FXにおいてカバーコストが増加し厳しい収益環境に置かれていましたが、前年に連結子会社化した外貨ex byGMO株式会社が寄与し、収益は拡大しました。CFDは、原油などのコモディティ市場の活況を受けて、売買代金の増加とともに収益も大きく伸ばし、新たな収益の柱として全体を支えました。今後も、クロスセル施策を一段と強化し、顧客基盤の拡大とさらなる成長を図っていきます。

暗号資産事業は、市場全体の売買代金が過去最低水準となる中、GMOコインの売買代金も大幅に減少しました。これに伴い、営業収益は前年同期比で8割減少し、9.7億円の営業損失を計上しました。利便性向上による顧客基盤のさらなる拡大と新たな収益モデルの模索により、収益安定化を図っていきます。

厳しい事業環境の中においても、市場の変化を捉え、迅速かつ的確に対応することで、着実な成長を図ってまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも長期的なご支援を賜りますようお願い申し上げます。

▼第3四半期決算のポイント

特別損失の計上により最終利益は大幅な減益

当第3四半期連結累計期間

営業収益

33,695 百万円
(前年同期比+1.9%)

営業利益

8,379 百万円
(前年同期比△32.7%)

経常利益

8,700 百万円
(前年同期比△31.5%)

親会社株主に帰属する四半期純利益

2,537 百万円
(前年同期比△67.5%)

業績レビュー

(2022年1月1日~2022年9月30日)

営業収益は前年同期と同水準であったものの、暗号資産事業の低調により営業利益、経常利益は減少しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、当第3四半期(7-9月)において、当社が保有するGMOあおぞらネット銀行の株式に係る特別損失約41億円を計上したことから、大幅な減益となりました。

証券・FX事業：店頭FXは厳しい収益環境が継続したものの、外貨ex byGMOの連結子会社化が寄与し収益が増加したほか、CFDの売買代金・収益が大きく伸長しました。その結果、当セグメントの営業収益は311.0億円(前年同期比41.2%増)、営業利益は95.8億円(同28.9%増)となりました。

暗号資産事業：2022年1-9月の売買代金は、暗号資産市場が低迷する中、市場の活況を受けて非常に好調であった前年同期と比較して大幅に減少しました。その結果、当セグメントの営業収益は21.4億円(前年同期比79.8%減)となり、営業損失9.7億円(前年同期は営業利益49.2億円)を計上しました。

■ 四半期業績の推移(セグメント別)

<証券・FX事業>

(億円) ■ 営業収益 ■ 営業利益



<暗号資産事業>

(億円) ■ 営業収益 ■ 営業利益



トピックス

Adam byGMO公式アプリにAR機能を追加



NFT事業では、ユーザー基盤拡大と二次流通促進に向けて、コンテンツ・機能拡充の取り組みを推進しています。NFTマーケットプレイス「Adam byGMO」は2022年8月、新たなアイテムの楽しみ方のご提案として、公式アプリ(Android版)にAR(拡張現実)機能を追加しました。保有している3Dアイテムをスマートフォンのカメラ越しに表示※1すると、そこには存在しないアイテムがまるで現実に存在しているかのように見え、保有アイテムと一緒に写真撮影を楽しんでいただくこともできます。

※1 Adam byGMOでのカテゴリが「3D」で登録されているアイテムが対象です。一部の端末ではAR機能を利用できない場合があります。

GMOオフィスサポート、サービス提供エリア拡大

GMOオフィスサポート

GMOオフィスサポートは、2021年12月より、

オフィス住所をレンタルできるバーチャルオフィスサービスを提供しています。2022年は顧客基盤の拡大に向けて、銀座、新宿、青山、横浜の首都圏に加えて、名古屋、大阪、京都、福岡のオフィス住所の提供を開始しました。今後も、個人事業主やスタートアップなどの経営者の方々の目的・利用シーンに合わせてオフィス住所をご選択いただけるよう全国展開を目指し、事業成長を図っていきます。

FXネオ取引が1,000通貨単位取引に対応

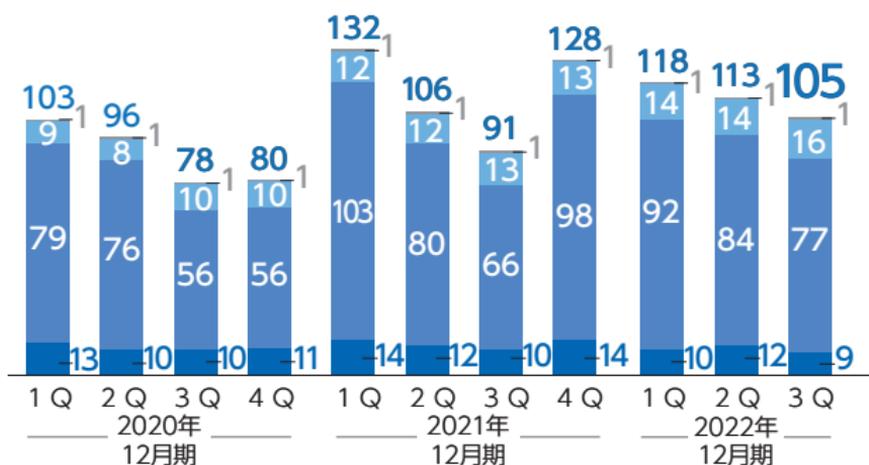


GMOクリック証券が提供する店頭FX取引サービス「FXネオ」は2022年10月より1,000通貨単位取引を開始し、さらに少額からの取引が可能となりました。今後もお客様のニーズにお応えし、より多様な投資スタイルに合わせた柔軟な取引を実現することで、顧客の裾野拡大を図っていきます。

四半期業績の推移

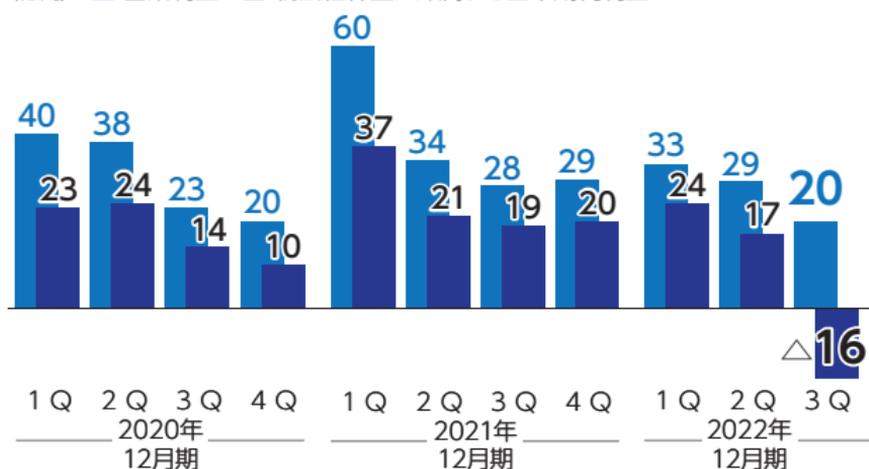
営業収益

(億円) ■ 受入手数料 ■ トレーディング損益 ■ 金融収益 ■ その他



営業利益／親会社株主に帰属する四半期純利益

(億円) ■ 営業利益 ■ 親会社株主に帰属する四半期純利益



会社情報

(2022年9月30日現在)

会社概要

- 商号 GMOフィナンシャルホールディングス株式会社
(GMO Financial Holdings, Inc.)
- 本店所在地 〒150-0043
東京都渋谷区道玄坂1-2-3 渋谷フクラス
- 代表者 代表執行役社長 COO 石村 富隆
- 事業内容 金融商品取引業等を行う連結子会社の経営管理
ならびにこれに附帯する業務
- 設立 2012年1月4日
- 資本金 705百万円
- 従業員数 495名(連結)

剰余金の配当(無配)について

当社は、株主に対する利益還元と内部留保の充実を総合的に勘案し、2022年12月期については、親会社株主に帰属する当期純利益に対する配当性向50%以上を目途に、四半期ごとに配当することを目標としています。

2022年12月期第3四半期末配当については、2022年10月25日に公表のとおり、当第3四半期(7月-9月)において、当社が保有するGMOあおぞらネット銀行に係る特別損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失を計上することとなったことを勘案し、誠に遺憾ながら、無配とさせていただくこととしました。2022年12月期の期末の配当予想も無配とさせていただく決議をしています。株主の皆様におかれましては、何卒、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

(単位:円)	1Q	2Q	3Q	期末	年間
2021年12月期	19.70	11.52	10.10	10.85	52.17
2022年12月期	12.50	8.50	0.00	0.00 (予想)	21.00 (予想)

株主メモ

上場証券取引所	東京証券取引所 スタンダード市場		
証券コード	7177	上場日	2015年4月1日
事業年度	1月1日~12月31日	定時株主総会	毎年3月
定時株主総会基準日	12月31日	1単元の株式数	100株
剰余金の配当基準日	3月31日、6月30日、9月30日、12月31日		
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社		
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部		
郵送物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部		
電話お問い合わせ先	TEL:0120-782-031(フリーダイヤル)		
ホームページ	https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/		
公告の方法	電子公告 公告URL: https://www.gmofh.com/ ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。		